９月１０日は下水道の日

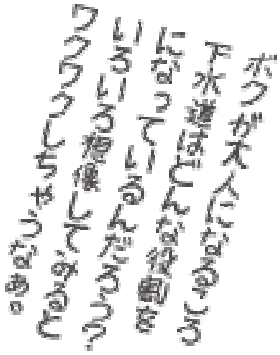
「下水道の日」は、諸外国に比べ、著しく遅れていた日本の下水道の全国的な普及を図るため、下水道を全国的にアピールする活動として、1961 年（昭和 36 年）から「全国下水道促進デー」として始まりました。当時、下水道を使えた人の割合は、わずか 6 パーセントほどでした。

日本における近代下水道の始まりである旧下水道法が制定された 1900 年(明治 33 年)から、ちょうど 100 年をむかえた 2001 年（平成 13 年)、21 世紀のスタートの年にあたるこの年、より親しみのある名称への転換が図られ、現在の「下水道の日」に変更されました。

なぜ、９月１０日なの？？

下水道には、お風呂や台所、トイレなど家庭等から出る汚水を下水道管を通して下水処理場に集め、浄化し自然に帰す役割のほかに、雨水をすみやかに流し、街が水びたしにならないようにする役割もあります。

1 年を通して、短い時間に多くの雨が降るのは、8 月から 10 月の台風シーズンです。

中でも、9 月 10 日は立春から数えて 220 日目にあたり、昔は二百二十日 (にひゃくはつか) と呼ばれ、大きな台風が来る日とされていました。大雨に備える特別な日のひとつだったのです。

この台風シーズン中の特別な日が下水道の雨水を流すという役割となじみがあるということで、9 月 10 日が「下水道の日」と決められたのです。